

令和4年度第3回多治見市生活支援体制整備推進会議議事録

日 時：令和5年2月3日（金）

10：00～11：25

場 所：多治見市役所 駅北庁舎4階大ホール

出席：高木浩二会長、浅野みな子副会長、竹内寛委員、林計男委員、加藤六美委員、水野貫二委員、林正勝委員、若尾卓男委員、伴野義久委員、松村三千代委員、浅井朋子委員、吉川幹委員、吉井よしみ委員、田中信次委員、森内佐和子委員、西山知広委員、羽根田真理子委員、水野磨意子委員、村田志野委員、水野千鶴子委員、中村みさ子委員（順不同）

欠席：大中博委員

事務局：加藤福祉部長、加藤高齢福祉課長、三宅高齢者支援グループリーダー、藤井第2層生活支援コーディネーター、山田第2層生活支援コーディネーター、高齢福祉課水野

事務局 ただいまから令和4年度第3回生活支援体制整備推進会議を開会します。本日は、大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。はじめに、福祉部長の加藤からご挨拶申し上げます。

福祉部長 ～あいさつ～

事務局 本日、大中博委員が所要のため欠席していますので、報告します。初めに、資料の確認をいたします。座席表、次第、委員名簿、資料1 前回のグループ討議のまとめを各委員のお手元に、また、グループごとに「グループ討議 概要報告用紙」をすべて本日机上に配付させていただいております。また、本日追加資料として、令和4年度多治見市の社会資源調査一覧表を生活支援コーディネーターから配付していただきましたので、ご確認ください。次に、本日の会議は、多治見市情報公開条例に基づいて公開とさせていただきます。また、議事録につきましては、事務局で取りまとめの上、委員の皆様にご確認をいただいてから、委員名を伏せてホームページで公開させていただきます。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1時間30分を目処に会議の終了を予定しておりますので、ご了承ください。事務局からの連絡は以上となります。

会長 それではまず、次第1、「地域課題に関する意見交換」を行います。前回のグループ討議を受けて本日も討議を行うこととなりますが、グループ討

議に入ります前にどうしても委員の皆さんに伝えたい、質問したいということがあれば、挙手願います。

生活支援コー
ディネーター
会長

～令和4年度多治見市の社会資源調査一覧表の紹介～

それでは、グループ討議の進行について、事務局から説明願います。

事務局

前回に引き続き、今期は、ボランティア活動等の「担い手の発掘」「参加に導くためのきっかけづくり」をメインのテーマとし、議論を進めていただくことになっています。

それでは、初めに、お手元に配付いたしました資料1の「前回のグループ討議のまとめ」について簡単にご報告いたします。

～資料1により前回の討議結果を簡単に報告、前回報告書修正報告～

それでは、本日のグループ討議の進め方について説明いたします。最初の5分間で司会進行、発表者を決定していただきます。

書記は、包括支援センターから選出の委員さんでお願いします。

書記の方は、発表者の方が発表しやすいように、グループごとの報告用紙をご記入いただきたいと思います。

この報告書は、発表後に提出していただき、会議録の確認時や次回の会議に印刷して皆さんに配付いたします。

司会進行、発表者を決定の後、前半25分で、「地域の人の魅力を感じる取り組みについて」、イベントや接触するとよい団体・人、広報の方法などを中心に話し合ってくださいと思います。

後半25分で、「集まった人とつながるために」、集まってくれた人と継続的な関係を構築するため、取り組みの輪を広げられるようにということを中心に討議いただきたいと思います。

その後、11時05分くらいから1グループ3分をめぐりに討議内容を発表していただきます。ご質問があればお伺いします。

～質問なし～

事務局

これより、5分間でグループリーダー、発表者を決定していただきたいと思います。早く決まったら先に進めていただいて構いません。

コーディネーターや事務局がグループを移動し、討議を聞かせていただきますが、ご了承願います。

～グループ討議～

事務局

それでは、時間となりましたので、会長、副会長は席へお戻りください。

会長

それでは、1 グループ3分ほどで発表していただきます。質問は全グループ発表後にお受けします。4 グループからお願いします。

委員

今はコロナ禍でできないですが、ゆっくりと座って話をできるイベントなどがあると、イベントに来た方に自分たちの活動を理解してもらえるのではないかという意見がありました。

また、福祉に関わる団体のみでなく、ほかの団体の若年層を取り込んで話を広げていくのがいいと思います。例えば、文化振興事業団や文化振興事業団と関係のある文化団体、多治見まちづくり株式会社などと話す機会があって、協力してもらえることがあれば、そのような人たちとつながっていきます。その個人的なつながりが団体としてのつながりになると、コロナが明けた後、いろいろなイベントが打てるようになります。その時にそのような団体との協力ができて参加していただきます。参加についても当日の参加だけでなく、事前の協議から絡んでいただくのが良いという意見もありました。

また、多治見市内のボランティア・グループについては、なかなか若い人がいないため、そのような団体とお互いに協力し合って地域の中の問題点を解決できるとよいと思います。ゴミ出しで困っていることでも、若い人には困っていることが理解できない。話し合っているうちに若い人にも地域の問題点が理解され、何か協力してもらえるかもしれないということを話し合いました。

委員

3グループで話し合ったことは、接触するとよい団体について、まず地域にどのような団体があるのか知る必要があるということ。その中で、中学生のボランティア活動を活発にする必要があるのではないかという意見が出されました。地域によって内容が変わると思いますが、イベントとしては、住民が喜んでくれる取り組み、特に子どもたちが楽しかったと感じてくれる活動が将来的につながっていくと考えます。

「集まった人とつながるために」というテーマでは、ボランティアが集まったとき何をしてもらおうのか明確に、具体的にしておかないと集まっても何をしたらいいのかということになりかねません。来てくれた参加者にもボランティアにも楽しみを作っておくことが大切で、参加してくれた子どもには何か土産やプレゼントを渡せるといいという意見もありました。

委員

2グループでは、「地域の人の魅力を感じる取り組み」について語り合う前に、担い手に負担があってはいけないので、誰もが取り組める組織づくりが大事という話が出ました。校区の中でも温度差があったり、どこかでよい取り組みをしても共有できていなかったりということもあるため、内部で統一できたり、区の中で結びつきを強めていけばいいというものです。

接触するとよい団体としては、区長や行政、校区の代表の方、地域福祉協議会との連携、取り組みとしては、要望が多いゴミ出しや若い人が集まりやすいバザーが効果的ではないかということでした。その中で、根本的に無償での支援は限界で、継続して魅力を感じてもらうには有償でないと難しいという意見も出されました。

「集まった人とつながるために」については、コミュニケーションの場を設けて、活動を知ってもらうことが大事で、人を集めるために行政からの発信もあるといいという意見や、活動している人も活動内容をしっかり把握しておくことが必要で、自治会の委員から順に浸透させていけばよいという意見でした。

委員

1グループでは、イベントについて、子どもが集まるとその両親やお年寄りも出てくるため、子どもが集まる行事を行ったらどうかという意見が出ました。また、現在は健康志向が高いため歩け歩け大会も人気で、餅つき大会も子どもや両親やお年寄りも集まるため、そのような行事の中でボランティアの啓蒙をすればよいということをお話し合いました。

接触する団体等について、養正地区では、1区から6区の区長のOB会を作り、養正地域福祉協議会の活動周知につなげられたので、経験者を引き入れることが良いという意見がありました。

「集まった人とつながるために」については、組織を簡素化すると良いという話をしました。ひまわりサロンに社会福祉協議会から補助金が交付されますが、その申請が煩雑で申請することをやめてしまう人もあるため、地域福祉協議会が手助けをすれば、ほかのボランティア団体の負担軽減にもつながるのではないかという意見でした。

会長

質問がある方は挙手願います。

委員

3グループの中学生による学生ボランティアについて、もう少し内容を伺いたい。

委員

社会福祉協議会で中学生のボランティア体験が行われますが、その後の活動の場を継続できないかという話をしました。ボランティア体験は、夏

休み限定で行われますが、サロンやイベントを日曜日に開催するとか、中学生のボランティア経験者に参加してもらえるように工夫をできないかという話をしました。

会長

ほかに質問はありませんか。
高齢福祉課長からまとめていただきます。

高齢福祉課長

本日は、活発なご議論をいただきありがとうございました。
今年度は、グループ討議で日頃皆さんが行ってみえること、今後の不安要素を情報共有することで、そこから見えてきた課題についてどのように方向性を見出していくのか、ご議論いただきました。私が話を聞かせていただきました4グループの中では、自分たちも高齢化しつつ、なかなか仲間が集めづらい、後継者が見つからないという話も出てきていました。
コロナ禍で打撃が非常にあると思いますが、何とか知恵を出し合って、視点を変えながら新しいつながりを見出すような手立てを一緒に考えていけるといいと感じました。
課題は山積みかと思いますが、少しずつでもよい取り組みに関する意見を出し合ってくださいながら、新たな形を見出していけたらいいと思っておりますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

会長

最後に、次回の会議開催ですが、令和5年6月を予定しております。開催の1月ほど前にご案内させていただきますのでご了承ください。
本日の議題は以上となります。これをもちまして令和4年度第3回多治見市生活支援体制整備推進会議を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。